

旭南部まちづくりだより

こじゃんち

旭

第3号

私たち旭南部コミュニティ計画推進市民会議は、旭南部をより良くしていくために『いきいき旭』を合言葉に「みんなで支えあう 心ふれあう まちづくり」の推進に向けて、現在もコツコツ活動中です。今回の広報紙では令和6年度の会員の活動を紹介させていただきます！

会長あいさつ

私たち旭南部コミュニティ計画推進市民会議は、平成12年より旭南部コミュニティ計画(案)を基に、まちづくりの合言葉を『いきいき旭』として「水の都 旭の環境まちづくり事業(地元小学生による環境啓発の絵の掲示)」「旭の歴史や名所を語り継ぐ事業(新旭発見ガイド作成)」を中心に活動してきた団体です。

令和6年度は、まちづくりの第一歩は、住民主体で地域の魅力を発信することからと、旭南部まちづくりだより『こじゃんち旭』を発行、また11月9日に旭地区の歴史を学ぶ「旭の日」まちづくり交流会、3月2日には、第1回まちづくりワークショップを開催し、無我夢中でもがいてきました。いずれも旭の歴史を創ってきた大先輩方の懐深いご理解、地域の皆様のご協力あってこそと改めて感謝申し上げます。

さて、令和7年度は旭地区のランドマークであり、長年住民の毎日の暮らしを支えてきたイオン高知旭町店が期間未定の休業となります。リニューアルオープンに期待は膨らみますが、色々な地域課題が発生する事が予見されます。4月からは、みんなで支えあう心ふれあう旭南部のネットワークづくりがさらに求められる局面であると捉えます。

令和7年度は、未来の旭のまちづくりに向けてさらに積極的に取り組んでいく予定です。皆さま方のご理解・ご協力のほどどうぞよろしくお願い申し上げます。



目次

会長あいさつ	1
旭南部コミュニティ計画推進市民会議の活動紹介	2
旭校区青少年育成協議会	4
旭っ子記者クラブ	4
ふる里の川 本宮川を取りもどす会	5
上本宮町山手町内会	6
旭街地域包括支援センター	6
高知市北消防署旭出張所	7
デイサービスやまもも旭	7
旭やるかい	8



旭南部コミュニティ計画推進市民会議の活動紹介

コミュニティ計画推進市民会議とは

コミュニティ計画推進市民会議とは、地域ごとに策定されたコミュニティ計画（地域の魅力や課題など、地域の想いがまとめられた地域ごとの計画）を推進している地域組織のことです。

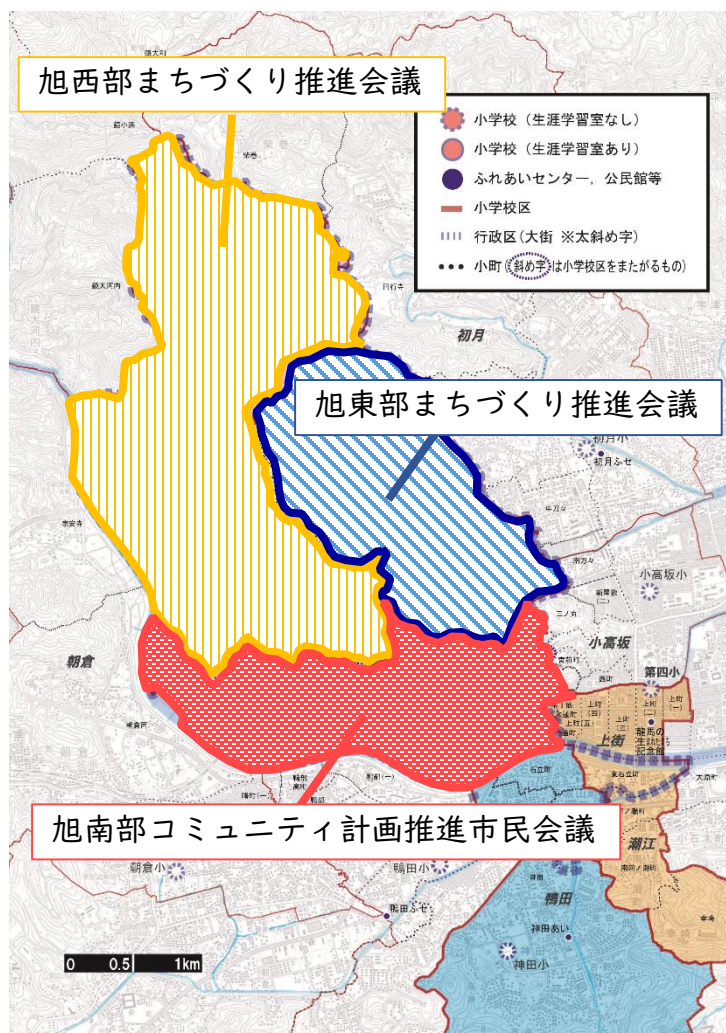
昭和44年の地方自治法の改正により、市町村における総合的・計画的な行政運営を実施するために施策の大綱を定める基本構想の策定が義務付けられ、都市計画を始めとする様々な行政計画や実施計画の基礎が検討されました。本市をはじめ多くの自治体において、市民意識の向上・市民参加に対する認識が深まっていたことから、市民の意思を施策に反映させる取組が試行されました。

コミュニティ計画（案）の作成に当たっては、各地区町内会連合会の協力を得て、地区毎に全戸配布し、地域住民の方の一般公募により組織された「コミュニティ計画策定市民会議」と行政職員が一緒になって、1年から1年半の期間をかけて作業を行い、平成6年度から平成21年度までで、概ね小学校区を単位とした28地区で計画（案）が作成され、市に提案されました。

計画策定の基本原則として、市民会議は市民の主体的な参加と会員相互の「話し合い」によって計画づくりや推進を進めるものとし、高知市は事務局として裏方に徹することとしていました。

各地区から提案されたコミュニティ計画（案）を基に、高知市はコミュニティ計画を策定し、市長が各地区に出向いて地域住民と対話する「わがまち・ふれあいトーク」を通じて、地域と計画の共有を行いました。

旭地区では、3つのコミュニティ計画が策定されており、その計画を推進するコミュニティ計画推進市民会議が3つ設立されています。



私たちは、この3つの団体のうち旭南部地区を対象に活動をしている団体です。

主な活動として以下の3つに取り組んでいます。詳細は次ページをご参照ください。

環境美化啓発看板の絵の掲示



地元の小学校に協力していただき、児童が描いた環境美化啓発の絵を平成13年から川沿いの掲示板に毎月掲示しています（13か所）。

まちづくり交流会「旭の日」・ワークショップ



地域内のつながりを深め、地域団体の活動を知り、地域課題を解決することを目的として開催している交流会やワークショップです。

旭南部まちづくりだより「こじゃんち旭」



地域にお住まいの皆様に地域の魅力や活動を知ってもらうために、広報紙を発行しています。今年度は3回発行しました。



令和6年度旭南部コミュニティ計画推進市民会議の活動紹介

まちづくり交流会「旭の日」

旭地区の歴史を振り返り、旭のまちづくりについて考える交流会を「旭の日」と題し、旭村が誕生した11月9日に開催しました。

当日は、約80人もの参加があり、第1部では高橋氏（オーテピア高知図書館 高知みらい科学館長）に、旭地区の歴史や偉大な人物たちが成し遂げたこと、史跡がたくさんあることなど、旭にまつわる歴史についてご講演いただきました。

講演の後には、旭が大好きな子どもたちが集まった『旭っ子記者クラブ』の元気いっぱいな活動紹介で、会場が温かい空気で包まれました。

第2部の懇親会では、旭地区の大好きな皆で旭についてたくさんお話ししました！

多くの皆様にご参加・ご協力いただき、本当にありがとうございました。



まちづくりワークショップ



旭地区のまちづくりについて再度考える機会を作りたいと思い、まちづくり活動の中心にいる皆様を対象とした「まちづくりワークショップ」を3月2日に開催しました。

当日は22人の各団体の方にご参加いただき、上本宮町山手町内会の活動紹介を始め、各団体の活動や悩み・課題を和気あいあいとした雰囲気でも共有することができました。

今回のワークショップで出た意見を次回のワークショップでさらに内容を深めて話し合いたいと思います。

環境美化啓発看板の設置

旭南部コミュニティ計画推進市民会議では、平成13年から鏡川と江ノロ川の清流保全のために、環境美化啓発看板を13カ所設置し、毎月地区の小学生(旭小学校・旭東小学校・高知小学校)が描いてくれた絵を掲載する活動を継続しています。

お近くをお通りの際は、ぜひ子ども達の絵をご覧になってください。

いつまでも美しい川、人々が集う憩いの川として、これからも清流を守り続け、次世代に受け継いでいきたいものです。

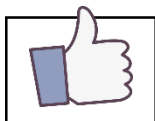
環境美化啓発看板の絵をご存じですか？
毎月傑作ぞろいので地域の皆さんの間で話題です！
ぜひ見に行ってください！！



川を大切に～子ども達からのメッセージ～

【環境美化啓発看板 設置箇所】

米田橋そば・上本宮町・鏡川堰そば・鏡川橋そば・
廓中堰そば・トリム公園・縄手町・玉水町・
旭上町(蛍橋郵便局前)・旭東小学校門内・
高知小学校入口前・井口町(永福寺前)・
井口町(高知いちょう病院北側)



旭校区青少年育成協議会

城山ハイキングとむかしあそび

市川 月子

11月10日は本年度当番校区の行川学園に行ってきました。

旭校区はAブロックに属していて9校区（旭東・旭・行川・朝倉・朝倉第二・鴨田・神田・横内・鏡）が輪番で行っています。

当日は、お天気にも恵まれ、行川の城山ハイキングと体育館でむかし遊びを行いました。昼食はおむずびと豚汁、棒巻きパンも作りました。

その後、地元の方の太刀踊の見学です。真剣を持って踊る姿は、美しい日本の文化だと思いました。

青少協の活動として他校の児童との遊び等を通じて、知らないことを見て聞くことを体験したのでないかと思います。城山にハイキングに行った方は、思い切りの新鮮な空気を吸ってきたでしょう。皆は楽しい一日でした。

第34回しめ縄と餅つき大会

市川 月子

12月22日に木村会館で行いました。旭地区社会福祉協議会・旭校区民生委員児童委員協議会・3小学校区の青少年育成協議会（旭東・旭・横内）主催で行っています。

昔ながらのしめ縄を作り、お正月を迎える準備をする訳です。一本縄は難しく、リースを作りました。わらでリースを作り、松・竹・梅・ユズリハ・ウラジロ・ダイダイをリースに付けると見事なリースのしめ縄が出来ました。年々参加者は上手にできています。

今年は餅を付くだけで丸めることはできませんでした。

昔ながらのポン菓子も毎年好評です。



旭っ子記者クラブ



旭はオモシロい！

小松 ますみ

旭っ子記者クラブは、旭の町で見聞き体験したことを発信しています。

旭のオモロいこと、困ったこと、気になることを何でも取材します！

困りごとの正解は分かりません。でも、考えます。小学生から高校生のメンバーがアイデアを出し合い、旭を楽しく盛り上げる企画も考えます。

10月のハロウィンイベントでは、仮装して町のごみを拾いながら歩きます。クリスマスには、お手伝いをプレゼントして町の人を笑顔にします。みんなが笑って過ごせる町を目指して、今日も旭っ子は町で遊んでいます。



メンバーと取材先 絶賛募集中！

メンバー・大人サポーター・取材先の申込みは、ブログと電話で受付けています。

- 対象：メンバーは小学生～高校生
大人サポーターは18歳以上
- 問合せ先：080-2989-3634（小松）



ふる里の川 本宮川を取りもどす会

ふる里の川 本宮川を取りもどす会

第1回 旭で語ろう！高知パルプ生コン事件 ～江ノ口川から考えるSDGs～

大石 健司



近年、地球沸騰化さえ叫ばれる中、自然との共生はますます重要性を増しています。

53年前、高知市旭地区で「高知パルプ生コン事件」が起きました。実行者自らも傷つきながら、自然と人の共生の大切さを訴えた事件です。

郷土の先人の思いを、未来に担う世代や当時を知る地域の皆さんと語り継ぎ繋げていくことは、高知の持続可能なまちづくりにおいて大変重要であると考え、事件が起きた日と同じ6月9日に、旭地区でシンポジウムを開催しました。

話題提供は、森 明香 氏(高知大学・環境社会学)、田中 正晴 氏(浦戸湾を守る会事務局長)、福田 仁 氏(高知新聞編集委員)です。

大雨にも関わらず驚くべき事に参加者は79人でした。小学生を含む幅広い年代の参加者からの途切れることのない生コン事件への思い、実行者への感謝、若い世代からの質問等、日本の公害問題の原点を正した「高知パルプ生コン事件」を、今を考えこれからの未来を見据える為に絶対に風化させてはならない、語り継がねばならないと参加者全員で思いをあらたにしました。

冬のブルーサンタ in 本宮川2024～青いサンタになってホタルの川のごみ拾いしよう～

大石 健司

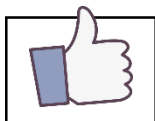
12月8日に『第5回 本宮川ブルーサンタごみ拾い』を初めての場所、本宮川の最下流付近にて実施しました。

地域の先輩方が残してくれたホタルが飛ぶ本宮川をみんなでキレイにして、この身近な潤いある自然環境を未来につなげていきたい！青いサンタが地域の皆様にクリーンな環境をプレゼントとの想いで始めた『本宮川ブルーサンタごみ拾い』ですが、旭小学校児童を中心に総勢50人参加(児童25人・保護者12人・旭小教諭2人・県議会議員1人・地域コミュニティ推進課1人・民生委員1人・スタッフ8人)、今回もみんなで助け合いケガなく無事らんまんの笑顔で終わりととても盛り上がりました。4年連続参加の児童も増えています。

地域の皆様にとっても喜んで頂き、活動へのご理解も浸透し環境美化意識も高まっています。

これからも、みんなのふる里 旭を子ども達と地域住民、地域の多様なコミュニティ・行政が支えあい協力し合って人と街と身近な自然が共生する潤いある地域を目指したいと思います。『本宮川ブルーサンタごみ拾い』へのご理解、ご協力いただき誠にありがとうございました。





上本宮町山手町内会・旭街地域包括支援センター

上本宮町山手町内会

初めてのハロウィンイベント

上本宮町山手町内会は、鏡川橋電停交差点から西に入って北側の150世帯程度の町内会です。

町内会活動の主体が高齢世代となる中、若い世代が関わる機会を作りたいという思いや、子どもたちが楽しく参加できるイベントをやりたいという声もあり、民生委員さんの発案で令和6年に初めてハロウィンイベントを開催しました。

民生委員さんから近所の子育て中のお母さん方に声をかけて企画会を開催したところ、プレゼントのお菓子作り、会場装飾バルーンの手配、会場での手作りワークショップの準備、当日パンフレットの印刷手配等を担ってくれました。また、中学生がキャラクター考案、告知チラシのデザインをしてくれて、とても素敵なイベントになりました。

当日は、近隣の10件のお宅にお願いして、参加者がウォークラリー形式で、町内各所のポイントを周りました。おばあちゃんたちが仮装して待っていてくれたり、子どもたちにお土産を準備してくれたり、地域の高齢者と子どもたちのとてもよい交流ができました。

「楽しかった」「来年も楽しみにしてます」との声をいただいたので、今後も多世代が楽しく参加できる行事をやっていきたいです。誠にありがとうございました。



旭街地域包括支援センター

旭街地域包括支援センターの活動について

旭街地域包括支援センターでは地域の方々と協働して様々な地域活動を行っています。今回は旭街地域包括支援センターが関わっている5つの認知症カフェをご紹介します。

1つ目におらんくカフェ。第二層協議体『旭やるかい』が主催の認知症カフェです。イオン旭町店2Fのおらんく広場で開催しており、買い物帰りの方なども来られてましたが、3月末でイオン旭町店閉店に伴い、4月からは場所は未定ですが開催予定です。

2つ目にえいとカフェ。高知県で初めてできた認知症カフェです。ケアマネジャーによる介護保険サービス等の10分講義が魅力の一つです。

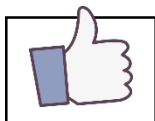
3つ目にとりごえカフェ。健康カフェとりごえ1Fにて「気軽にお茶とお菓子を楽しみながらちょっと困ったことを相談しませんか」をコンセプトに介護予防、脳トレなども行っています。

4つ目にオレンジサニーカフェ。サニーマート山手店イートインコーナーにて認知症のお話、サニーマートによる栄養講座など活気溢れた活動を行っております。

最後にのんびりしー屋。旭街地域包括支援センター前で開催しております。名前通り何をするわけでもなく、病院帰りの人、通りかかった人など誰でも気軽にのんびりできるカフェとなっております。

認知症カフェは認知症の人、その家族、認知症でない人、認知症について勉強したい人等誰でも気軽に集まれるカフェです。お近くに来られた際は一度覗いて行かれてはいかがでしょうか。





高知市北消防署旭出張所

ロープレスキューチーム「ACTIVE KOCHI」の活動紹介

井上 大介

ACTIVE KOCHIとは、高知県内消防本部に所属する有志18人によるロープレスキューチームです。

ロープレスキューとは、山で転落した人を引き上げたり、高所で動けなくなった作業員を地上まで吊り下ろしたりと高低差がある場所等でロープと器具を使用して安全に救出する技術のことです。

「ACTIVE KOCHI」の結成理由は、ある大会を見学に行った際に技術と汎用性の高さに衝撃を受け、この技術を人命救助に役立てたいという使命感に駆られたことです。その後、有志を集い、ACTIVE KOCHIを立ち上げました。職場では十分に普及されていない世界基準の資機材を自費で購入し、休日を利用して訓練しています。

ロープレスキュー大会に参加する意義は、大会での経験が、一人でも多くの命を救うことにつながるからです。

ロープレスキュー大会では、観覧車に取り残された人、崖下に車が転落し車内に取り残された人など、実際に起こりえる災害想定が事前情報なしにその場で与えられ、即座に救出プランを考え救助するという現場に類似した形式で競います。大会に挑戦することで大きな気づきがあり、国内外のチームと世界基準の知識・技術を共有できます。このことから私たちは、「助けを求めている人に最善を尽くせる消防士」になることを目的として、今後も挑戦を続けていきます。

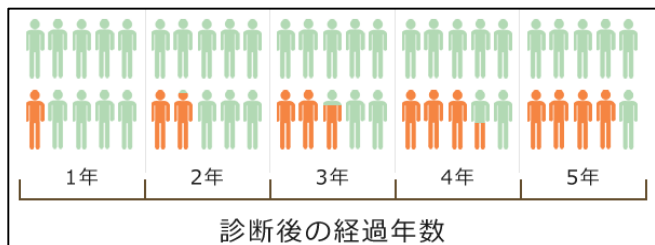


デイサービスやまもも旭

MCI（軽度認知障害）について

デイサービスやまもも旭では、知っておいて損はない、高齢になると発生しやすくなる様々な症状について紹介します。今回は、MCI（軽度認知障害）についてご紹介します。

MCI（Mild Cognitive Impairment：軽度認知障害）とは、認知症と完全に診断される一歩手前の状態です。放っておくと認知症に進行しますが、適切な予防をすることで健常な状態に戻る可能性があります。厚生労働省は、認知症とその予備群とされるMCIの人口は862万人存在すると発表しています。驚くべきことにこれは65歳以上の4人に1人です。意外に思われるかもしれませんが、認知症やMCIはとても身近なのです。

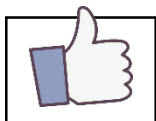


MCIを放置すると、認知機能の低下が続きます。MCIから認知症に症状が進展する人の割合は年平均で10%（※）と言われています。すなわち5年間で約40%の人は認知症へとステージが進行することになります。

MCIは健常な状態と認知症の中間の状態

MCIでは、1年で約5～15%の人が認知症に移行する一方で、1年で約16～41%の人は健常な状態になることがわかっています。そのため、早期から認知症予防の対策を行っていくことが重要であり、適切な認知症予防策を講じることで、健常な状態への回復や認知症への移行を遅らせることが期待できます。





旭やるかい

旭やるかい

「旭やるかい」って？

「住み慣れたこの旭で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることがで・・・」そのために、旭にある組織・団体と行政・社協などの関係機関が寄合い、地域に支えあいの輪を広げていくために、顔の見える「話し合いの場」＝『旭やるかい』（生活支援サービス体制整備事業第二層協議体）が平成30年5月にスタートしました。



孤立をなくしたい・・・という想いの共有から、「マップ作り」そして「旭やるかい」に発展しました。『旭やるかい』では、助け合い活動を地域に増やし、新たな社会資源を作り出し、様々な活動と一緒に「やる!」こと、旭の課題をみんなで出し合い解決につなげていくことで、よりよい旭になり住みよい街をめざすことを目的にしています。それを実現すると旭が暮らしやすくなる。つまり「孤立しない旭」に一步でも近づくのではないかと考えています。

これまでイオン高知旭町店 2階おらんく広場で、話し合いを毎月行ってきました。男性の居場所として、男性のサロン「おんちゃんクラブ」からボッチャ倶楽部ができました。そして「旭やるかい祭り」「旭バザール」「デイサービス知っつく市」「デイサービス集まる会」「ミニ支えあいフォーラム」などの地域での集まりを開催してきました。

旭やるかいの運営主体で、地域の通いの場として令和4年1月「ふらっと旭」が開所しました。高知市で第1号の通所型サービスです。住民主体による要支援者を中心とする自主的な通いの場づくりとして、体操・運動等の活動、趣味活動、会食等を行っています。毎週月・木・金曜日の午前10時から午後3時まで開いています。

これからも地域の孤立をなくし、助け合い活動を広げ、どうすれば旭が住みやすくなるかを「みんなで考える」ことを続けていきたいです。『旭やるかい』の活動に参加してくれる方は、ぜひお集まりください。

(旭やるかい ふらっと旭 Tel090-2892-3889 高橋)

<参加団体>

高知市基幹型地域包括支援センター、旭街地域包括支援センター、高知市社会福祉協議会、高知市シルバー人材センター、くらし応援団あさひ、高知医療生活協同組合旭南支部・旭西支部、高知県高齢者福祉生活協同組合、おんちゃん倶楽部、ふらっと旭、ほおちょけん相談窓口、地域住民有志



絶賛募集中！！

旭南部コミュニティ計画推進市民会議に興味のある方や加入希望の方、広報紙に掲載したい記事を募集しています！ 以下の連絡先までお気軽にご連絡ください！

【編集・発行】 旭南部コミュニティ計画推進市民会議

【連絡先】 旭南部コミュニティ計画推進市民会議 事務局

高知市地域コミュニティ推進課（島崎）

〒780-8571 高知市鷹匠町3丁目1-43 高知市役所たかじょう庁舎3階

TEL 088-833-9080 FAX 088-834-9794 E-mail kc-103000@city.kochi.lg.jp

